

講義名	高齢者心理学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	関 和俊 / 銅直 優子 / 蜂屋 真		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	12073

主題と概要

この授業は、老化の現象を心身両面から理解することを目的としている。
 心理的側面では、高齢者の記憶や知能の機能について解説し、それらが損なわれる認知症について詳述する。また、高齢期に生じ易いつ病について理解し、その対応について学習する。その他、老化によって、性格や心理状態などがどのように変化していくのかを理解し、高齢者に対してどのような心理的援助法があり、どのような効果があるのかについて学習する。加齢による記憶機能や知能の変化について理解を深めるとともに、認知症に対する理解とケアを学ぶ。体力や知的側面の衰えは心理面にも大きく影響を及ぼしている現実が高齢者の生きがいや死生観にどのような影響を及ぼしているのかを心理面から理解をしていくと同時に老年期における心理測定や心理療法についても学んでいく。
 身体的側面では、身体が年齢とともに変化していく事実を生理学的現象として把握し、身体の老化の過程が、外部からの働きかけによって影響されていくことを学習する。さらに、加齢に伴う身体の変化である老化を形態の変化と機能の変化から学習していく。

到達目標

高齢期の身体的変化について、理解することができるようになる。
 高齢期の記憶や知能の機能について、理解することができるようになる。
 高齢期の心理的側面の特徴について、理解することができるようになる。
 高齢期の人たちに対する運動実践指導や心理援助について、理解することができるようになる。

提出課題

3回のレポート課題もしくは試験がある（3名の教員それぞれがレポート課題もしくは、試験を実施する）。
 課題内容については、授業内で指示する。

評価の基準

授業内での取り組み課題や参加態度：50%
 レポート：50%

履修にあたっての注意・助言他

「健康運動実践指導者」の受験資格を希望する学生は履修することを勧める。
 授業は整然とした中で行われるべきものであり、私語に対しては厳しく注意する。
 レポート課題もしくは試験の3回のうち、どれか一つでもかけると合格が極めて難しいと思われる。

教科書

.無し.

プリント資料及び参考文献

【参考文献】
 ・よくわかる高齢者の心理 近藤勉著 ナカニシヤ出版
 ・高齢者の「こころ」事典 井上勝也・大川一郎編中央法規
 ・高齢者のこころの理解とケアに役立つ「成熟と老化の心理学」谷口幸一編著 コーレル社
 ・老いのこころ「加齢と成熟の発達心理学」佐藤真一・高山緑・増本康平（著） 有斐閣
 ・健康運動の支援と実践 田中喜代次編著 金芳堂

授業計画

- 1 高齢者心理学とは（担当：関、蜂屋、銅直）
- 2 日本社会と高齢化（担当：蜂屋）
- 3 高齢者の記憶（1）（担当：蜂屋）
- 4 高齢者の記憶（2）（担当：蜂屋）
- 5 高齢者の知能（担当：蜂屋）
- 6 高齢者の不適応心理 - 認知症 - （担当：蜂屋）
- 7 高齢者の不適応心理 - 恍惚の人（有吉佐和子）DVD鑑賞 - （担当：蜂屋）
- 8 高齢者の不適応心理 - うつ病 - （担当：銅直）
- 9 高齢者のアセスメント（担当：銅直）
- 10 性格に見られる加齢現象（担当：銅直）
- 11 高齢者の心理と自己概念（担当：銅直）
- 12 高齢者に対する心理的援助法（担当：銅直）
- 13 高齢者の心理の総括（担当：銅直）
- 14 老化に伴う体力低下とその予防（担当：関）
- 15 高齢者に望まれる体力レベル（担当：関）

予習・復習

【蜂屋担当分】
 予習：参考文献にあげられた『よくわかる高齢者の心理』（図書館収蔵）の授業内容に対応する箇所を、前もって読んでおくこと。
 復習：『よくわかる高齢者の心理』を復習として活用し、疑問点は教員に尋ねること。
 【銅直担当分】

備考